

六字城

ROKUJIJO

2024/5/1

No.714

大阪市北区東天満 1-8-26
06-6351-3535
http://www.tenma-betsuin.jp
代表者 輪番・奥林 暁



天満別院 敬寺院巡り
夜明山 報春寺

夜明山 報春寺
住職：新井 義時 氏
住所：大阪府守口市寺方元町2丁目7番4号

沿革
報春寺は、真宗大谷派真宗本廟（東本願寺）の末寺で寺方村民総意の望みで、本尊阿弥陀仏木像と寺号報春寺を本山から与えられたのが、元禄六年（一六九三年）本願寺十六世、一如上人の時であります。同年、一尺四寸の阿弥陀如来（御仏師所京六條樋口長門ノ祖父道知作）と元禄十年（一六九七年）、親鸞聖人御影（河州茨田郡北寺方村惣道場報春寺）、元禄十三年（二七〇〇年）、教如上人御影も一如上人から下付されています。宝物はその他に享保十二年（一七二七年）に聖徳太子御影、七高僧御影が本願寺第十七世、真如上人から下付されています。元大和郡山にあった法泉寺本堂を文化七年（一八一〇年）天満川崎本願寺のご縁をついだ天満別院の地へ昭和二十五年（一九五〇年）仮御堂として移築し、さらに昭和三十四年（一九五九年）に当寺にお迎えしたものであります。

報春寺では永代経、彼岸会、報恩講等の行事に力を入れておられます。昔は夫婦で多くの方が出席されていたが、門徒の減少や少子化の為、寺との関係性がやや薄れてきたなか法事や日々のお参りを通して法義相続の大切さを伝えておられます。

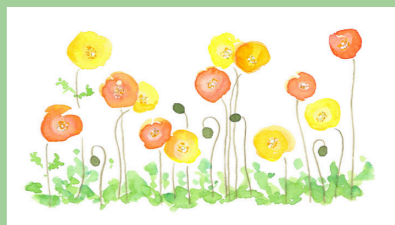
前任職は、「惣道場としての始めの願いの如く親鸞聖人のみ教えである本願を信じ念仏もうす世となつて広まり永えに伝わって行くことを目的として建立されました。初心を忘れず門徒と共に聞法を続けたい」と語っておられました。

法要・行事予定

5月		
12日	闍如上人御遠夜・常永代経	(14時)
13日	闍如上人御命日 兼日中	(8時)
22日	常如上人御祥月御命日	(8時)
27日	宗祖聖人御遠夜	(14時)
28日	宗祖聖人御命日 兼日中 法話 輪番 奥林 暁	(8時)
29日	定例法話 楠樹 章麿 師 「あるがまま」	(13時30分) (第27組妙蓮寺)
31日	聖典講座	(14時)

***先月号で告知していましたが
定例法話は、都合により
5月29日(水)に
変更になりましたことを
お知らせいたします**

6月		
5日	同朋の会	
8日	天満別院合唱団「みのり」	(14時)
12日	闍如上人御遠夜・常永代経	(14時)
13日	闍如上人御命日 兼日中	(8時)
18日	存如上人御祥月御命日	(8時)
21日	聖典講座	(14時)
24日	夏の御文法要 山名 彰英 師 (第22組因超寺)	(13時30分)
27日	宗祖聖人御遠夜	(14時)
28日	宗祖聖人御命日 兼日中 法話 輪番 奥林 暁	(8時)



今月の伝道掲示板

自然に、さまさまの
さとりをすなわちひらく
法則なり
—『一念多念文意』—

5月 定例法話
定例法話は、多彩な講師陣がわかりやすく真宗のみ教えをお話しされます。
別院の都合により5月の定例法話は左記の日程で開催されます。皆さまぜひお誘い合わせの上ご参拝ください。よろしくお願いいたします。
日時 5月29日(水) 13時30分
場所 天満別院 本堂
御講師 第27組妙蓮寺前住職 楠樹 章麿 師
講題 「あるがまま」

編集後記

今月の崇教寺院巡りは守口市の報春寺様を取材させていただきました。
報春寺様の本堂は天満別院の仮御堂を移築されているとお聞きしました。その御堂は仮御堂とは思えない程厳かであり、木材を崩して建て直す建築技術に驚かされました。
歴史的な建物を残していくことの大切さを学ばせていただきました。

寺町という歴史ある地域に
根ざした老舗葬儀社

(株) 天満花重

〒530-0041
大阪市北区天神橋 3-4-6
電話 (06)-6351-3875
FAX (06)-6351-6260

～ご縁を大切に～

日下念珠店

〒600-8174
京都市下京区烏丸通花屋町下る
TEL075-351-6325 FAX075-341-5255
https://www.kyo-kusaka.jp



20組安樂寺 上本 賀代子 師

4月 定例法話

4月24日(水)、御講師に20組安樂寺 上本賀代子師をお迎えし、正依の經典の一つ『仏説觀無量壽經』について、マンガの法話「王妃の願い」という話題のものと話しいただきました。

『觀經』は、「王舎城の悲劇」という物語であります。師からは「女は三界に家無し」という言葉。この『三界』は仏語であり、欲界・色界・無色界、すなわち全世界のことである。女性は幼少のときは親に、嫁に行つてからは夫に、老いては子供に従うものだから、広い世界のどこにも身を落ち着ける場所がない。そのような苦しみや韋提希夫人にもあったのでは」とも語られました。この「王舎城の悲劇」の内容をイラストを用いて分かりやすく丁寧にお話しくださいました。



南桂寺団体参拝の様子

同朋の会

—南桂寺御遠忌団体参拝—

去る4月20日(土)同朋の会が開かれました。今回は、奥林輪番の自坊で親鸞聖人七五〇回御遠忌・御誕生八五〇年・立教開宗八〇〇年慶讃法要・本堂屋根修復落慶法要が勤まりました。

当日は天候にも恵まれ、参道列に51名のお稚児さんが参加されました。本堂内では立派な立華が荘厳されており、高らかな声明のものと儀式が勤まりました。

ご門徒さんからは、「新任された御輪番さんのお寺にいくご縁をいただいで、またこのような立派な法要にもお参りすることができてよかったです。」と言われました。

告知

大阪教区同朋大会 開催

大阪教区同朋大会が左記の通り開催されます。本年も難波別院を会場としておりますが、本堂内の増席はもちろん、映像配信による第二会場の設置など、多くの同朋の皆様に参加していただけるように態勢を整えておりますので積極的な参加をお願い申し上げます。

日時 6月15日(土) 午前10時

会場 難波別院

テーマ 「私たちは何を求めて生きていくのだろうか」

講師 藤井慈等氏
(三重教区慶法寺前任職)

参加費 お一人 1000円

※5月22日(水)までに天満別院までご連絡ください。

歓迎会

開催場所変更のお知らせ

天満別院より送付いたしました新旧輪番歓迎会の会場について変更がありましたので、左記の通りお知らせいたします。

日時 5月17日(金)

17時30分受付
18時 開場

場所

ホテル阪急インターナショナル
ザ・リッツ・カールトン大阪

会場 お一人 16000円

すでに出席連絡をいただいている崇敬寺院・ご門徒・有縁の方々におかれましては、改めてご案内を送付いたします。

何卒よろしくお願い申し上げます。

納骨はいつしたらいいのでしょうか？



答え

これは普段からよく聞かれる質問です。宗派として特に決まりはありませんが、身近な方が亡くなられてお骨を拾ってきたのであれば、いつかは納めるべきところに納めなければなりません。関西では一般的に次の2種類に分けてお骨を拾うことが多いです。胴骨と言われる大きな骨壺と、本骨(頂骨)と言われる小さな骨壺です。どちらかだけの場合もあります。

胴骨はお墓に納め、本骨は真宗本廟あるいはお手次のお寺や納骨堂へ納めます。本骨だけを拾って帰ってこられた際、それをお墓に納めるということもあるでしょう。昨今の墓じまいの流れで、お墓を持たない方も多くなってきました。お墓は持たないけれど胴骨を拾って帰ってきてしまった時は、納める場所が中々見つからないこともあります。

様々な納め方がありますが、胴骨は四十九日までに納める方が多く、本骨は1年ほどご自宅に置かれてから納める方が多いようです。しかし納骨の時期を逸してしまうと、いつまでもご自宅にお骨が置きっぱなしになってしまうというところもあるでしょう。妻や夫、ご両親など、大切な方のお骨を中々手放したくないという気持ちは十分理解できます。しかしながら、いつかは誰かが納めていかなければなりません。何もない日に納骨しようという気持ちには中々ならないでしょう。

迷われている方は、一周忌や三回忌などの法事や、その方のご命日の時期などに検討されてはいかがでしょうか。

(第15組 本傳寺 間野 淳雄)

天満別院 花まつり 開催

去る4月13日(土)花まつりが開催されました。再始動から二年間は天候に恵まれませんでした。今年度は快晴の中、開催することができました。



灌仏法要 参詣者の様子



法要を華やかに彩る合唱団「みのり」によるコーラス



生花体験の様子



野菜マルシェも大盛況!



ぶっくん君も来てくれました